



# 羽衣国際大学Sports

## 文武不岐の実践により人間力を高める

BCthe ONE 羽衣国際大学  
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科  
放送・メディア映像学科  
人間生活学部 人間生活学科  
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1  
TEL 072-265-7001 FAX 072-265-7005  
https://www.hagoromo.ac.jp/sports

はごろもこくさい スポーツ 検索

# 2季連続優勝

### 近畿学生野球Ⅲ部



### 硬式野球部

### Ⅱ部復帰も決める

## 守り勝つ野球を体現

2025年度は、春季リーグ戦Ⅲ部を5勝0敗3分で優勝するも、入替戦で惜敗してⅢ部残留。しかし秋季リーグ戦では7勝1敗で2季連続優勝を果たし、入替戦も制して9年ぶりのⅡ部復帰を成し遂げた。

秋の戦いを支えたのが、1年生投手の原隆太の台頭である。3勝（防御率1.85）を挙げた安定の投球でチームを牽引し、入替戦第3戦でも昇格を決定づける好投を見せた。

とできない一戦であった。さらに、入替戦を含む11試合中7試合を無失策で切り抜けた野手陣が、安定した守備力を発揮した。堅守が投手陣を盛り立て、どんな劣勢でも崩れず、粘り強く戦い抜く原動力となった。

の野球を体現できたことは、チームにとって大きな収穫であった。

今春と比較をすると、8試合での失点数は12点から21点（リーグ2位）に増加。与四死球は春と同数の19個（リーグ最少）となり、失策数は8個から4個に減少した。リーグ戦での無失策試合は5試合（入替戦を含む）と11試合中7試合を記録し、守備力強化の成果が表れた。

## 投打走秋季リーグ表彰者

### ベストナイン（初受賞）



土堀 一輝 (三塁手/4年生)  
京都府: 京都翔英高校出身

◎内野手として8試合に出場。打率・4.07  
打線の要として4割を超える打率とリーグトップとなる10打点を記録し、重要な局面で確実に結果を残した。



原 隆太 (投手/1年生)  
大分県: 柳ヶ浦高校出身

◎5試合に登板して3勝を挙げる。防御率1.85  
1年生ながら3勝を挙げ、春に続いて優勝争いを支える存在となった。



國光 奏太 (外野手/1年生)  
高知県: 高知商業高校出身

### 【リーグ戦順位推移】

年次	勝率	(順位)
2017 秋Ⅲ部	3勝4敗1分	.429 4位
2018 春Ⅲ部	4勝4敗	.500 5位
2018 秋Ⅲ部	4勝5敗	.444 4位
2019 春Ⅲ部	6勝3敗	.677 3位
2019 秋Ⅲ部	3勝4敗2分	.429 4位
2020 春Ⅲ部	【中止】	
2020 秋Ⅲ部	2勝3敗1分	.400 3位
2021 春Ⅲ部	3勝0敗1分	1.00 1位
(公式記録) 入替戦なし		
2021 秋Ⅲ部	6勝2敗	.750 2位
2022 春Ⅲ部	7勝0敗1分	1.00 優勝
入替戦敗退 三部残留		
2022 秋Ⅲ部	4勝3敗1分	.571 3位
2023 春Ⅲ部	2勝5敗1分	.286 4位
2023 秋Ⅲ部	5勝3敗	.625 2位
2024 春Ⅲ部	6勝2敗	.750 2位
2024 秋Ⅲ部	4勝4敗	.500 3位
2025 春Ⅲ部	5勝0敗3分	1.000 優勝
入替戦敗退 三部残留		
2025 秋Ⅲ部	7勝1敗	.875 優勝

※入替戦の結果、2部昇格（復帰）決定

◎外野手として8試合に出場。打率・5.16  
初年度の活躍は目覚ましく、チームを代表する選手の一員として存在感を示した。



阪口 京太郎 (外野手/1年生)  
大阪府: 岸和田市立産業高校出身

◎主に指名打者で7試合に出場。打率・2.96、盗塁5  
俊足と高い走塁意識を武器に1年生ながらベストナインに選ばれた活躍を見せた。

### 大会成績

- 近畿学生野球連盟2025年 秋季リーグ戦Ⅲ部 7勝1敗
- 第1節 ○6-1 奈良大学
- 第2節 ○8-1 兵庫県立大学
- 第3節 ○6-1 大阪教育大学
- 第4節 ○1-6 大阪教育大学
- 第5節 ○2-1 東大阪大学
- 第6節 ○1-3 東大阪大学
- 【入替戦】2勝1敗 2部復帰(9年ぶり)
- 6-7 太成学院大学(2部6位)
- 8-3 " "
- 13-2 " "
- 優勝: 羽衣国際大学 (2季連続優勝)
- 2位: 大阪教育大学
- 3位: 東大阪大学
- 4位: 兵庫県立大学
- 5位: 奈良大学



### 本学から2人目のプロ選手誕生

### 関西独立リーグ「大阪ゼロロックス」に入団

勝負強さに加えて、内野を中心に、投手以外のすべてのポジションをこなすユーティリティ性、そして何より野球に対する情熱と取り組みの姿勢が高く評価され、今回の指名・入団に至りました。本学としての2人目のプロ選手です。



### 硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。

目指すは、

- 礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部
- 皆から愛される大学野球部

を創ること

### 充実の冬季合宿

2025年の冬季合宿は鳥取県倉吉市において実施した。『野球を通じて人間教育』のテーマに沿って、次の研修を行った。

- 【研修1】米子城跡の登頂
- 【研修2】鳥取県立境高校教諭・花島先生の講話(2006年夏に監督として甲子園出場)
- 【研修3】元鳥取県立米子東高校監督・井畑先生の講話(甲子園出場3回、中国大会出場9回、2001年鳥取県代表監督、21世紀候補校5回)

『戦い続けるという勝利の形』倒れないことではなく、倒れても起き上がる勇氣

- 【研修4】白壁土蔵群を散策
- 【研修5】青山剛昌ふるさと記念館を見学

### 監督 伊丹康治

1972年5月生まれ、大阪府箕面市出身。日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会(3年秋)、全日本大学野球選手権大会(4年春)に出場し、それぞれ全国ベスト4へ進出。和歌山・初芝橋本高校では、コーチとして夏の甲子園大会に出場(のちに監督就任)。本学スカウティングスタッフ・副部長・コーチを経て、2016年秋に監督就任。スポーツ振興課にて強化指定クラブの発展に尽くす。

### 部長 朝西知徳

1965年10月生まれ、神奈川県横浜市出身。筑波大学大学院体育研究科修了(体育心理学)。山梨・日本航空高校コーチを経て、茨城・鹿島学園高校、鳥取・米子商業高校(現・米子松蔭高校)、本学、羽衣学園高校(初代)の4校で監督を歴任。夏の甲子園大会出場1回、中国大会出場6回(最高ベスト4)。監督として通算141勝(公式戦)。昭和から平成、そして令和まで30年以上、学生野球を通じた人間教育を続ける。

硬式野球部 公式Instagram  
硬式野球部 公式サイト

# 西日本学生3位

バドミントンクラブ



## 近藤 混合ダブルス

## シングル 柏瀬

**粘り強く勝ち進む**  
柏瀬倫佳(3年)は4回戦で尾藤選手(松山大)との激戦を制し、6回戦で実力のある1年生安福選手(立命館大)にストレート勝ち。準々決勝へ進出した。

準々決勝は京産大のエース・杉野選手と対戦し、ファイナルゲームで勝ち、ベスト4へ進出を決めた。準決勝は残念ながらストレートで敗れたが、力を示した大会だった。

近藤ももな(3年)はシングルと混合ダブルスでエントリー。シングルスは残念ながらベスト16に終わったが、混合ダブルスでベスト4に進出。準決勝は第2ゲーム後半に追い上げを見せたが、決勝へ進めず、惜しくも3位となった。



**全日本学生選手権 近藤、柏瀬が出場**  
女子シングルスに近藤と柏瀬が出場した。ともに健闘みならず、近藤は2回戦、柏瀬は3回戦で敗退した。近藤が出場した混合ダブルスは1試合目、なかなかコンビネーションがつかめずにいたが、第2ゲームからペースをつかみ、ファイナルゲームで勝利を収めた。続く3回戦は1ゲームを取り、2ゲームも優位に進めていたが、配球を変えてきた相手ペアに苦戦。2、3ゲームと落とす3回戦で敗れた。

**関西学生秋季リーグ、女子初1部で6位**  
初戦の龍谷大戦ではシングルスで近藤、柏瀬とも競り合うが勝ちきれず、第2ダブルスで1ポイント奪うのみで1-4。第2戦の同志社大戦も第3シングルスで近藤が勝ったポイントのみで1-4。1部の壁は厳しく2敗で進んだ。第3戦の京産大戦は近藤、柏瀬がシングルスとダブルスで勝ち3-2で1部初勝利を挙げた。

**優勝 大阪学生選手権(団体戦) 女子2連覇**  
女子 1部で3勝し、団体戦2連覇を果たす。関西大戦で山川・近藤組が踏ん張り、2-1で勝利したことが大きかった。

**全日本大学対抗戦**  
初戦の日本大戦は、シングルス2つを取るが、あと1つが取れず1回戦で敗退となった。

**男子 3部1位となり、2部復帰を目指して入替戦に臨んだが、神戸大に0-3で敗れ、2部復帰は果たせなかった。**

**大会成績**

令和7年度関西学生秋季リーグ戦

- 男子3部 1位
- 女子3部 1位
- 男子1部 6位
- 女子1部 6位

入替戦

- 男子 0-3 神戸大
- 女子 1部 0-3 神戸大

第65回西日本学生選手権

- 女子シングルス(6回戦以降) 6回戦
- 柏瀬 0-2 安福(立命大)
- 近藤 0-2 金廣(龍谷大)
- 準々決勝
- 柏瀬 0-2 杉野(京産大)
- 準決勝
- 柏瀬 0-2 小林(龍谷大)
- 混合ダブルス(4回戦以降)
- 近藤・角田(敬和学園大) 4回戦
- 0-2 森・上田(立命大)
- 準々決勝
- 0-2 中村金澤(関学大)
- 準決勝
- 0-2 大山吉居(立命大)

第76回全日本学生選手権

- 対抗戦
- 女子1回戦 羽衣国際大
- 0-3 日本大
- 女子シングルス
- 2回戦
- 近藤 0-2 尾藤(松山大)
- 柏瀬 0-2 田島(釜石大)
- 3回戦
- 柏瀬 0-2 金廣(龍谷大)
- 混合ダブルス
- 近藤・角田(敬和学園大) 2回戦
- 0-2 櫻井坂本(日体大) 3回戦
- 0-2 竹澤今泉(日体大) 3回戦
- 令和7年度大阪学生選手権・団体
- 男子1部 4位
- 0-3 大阪体育大
- 0-3 関西大
- 0-3 大阪経済大
- 女子1部 1位
- 0-2 1 関西大
- 0-2 1 大阪経済大
- 0-3 1 大阪体育大

**ブルネイから来日 2ヶ月間コーチ研修**  
2025年10月~11月の2ヶ月間、ブルネイからコーチングを学ぶため、国家代表コーチのSiaさんが来日し、私たちのクラブと喜多監督の元で学ばれました。11月にはブルネイ在住で、この研修と企画調整をした大河内さんが来学され、活動状況を視察し、学生たちとも交流を図ってくださいました。Siaさんの活躍でブルネイ代表のレベルアップが今後期待されます。



**強化クラブ特設ページ**

羽衣国際大学公式サイトにある、強化クラブの活動や大会成績などを発信する特設ページです。「文武不岐」に励む強化クラブの学生たちの活躍をぜひご覧ください。

クラブ情報を 続々更新!

大学スポーツで あなたは、予想以上のあなたになる。

— 強化クラブ —

**強化クラブの集い**

2025年12月18日、理事長・羽衣国際大学羽衣学園短期大学同窓会美羽会主催の強化クラブの集いが行われ、本年度卒業する4年生が参加しました。

**強化クラブ学生交流会**

2026年1月31日、強化クラブ学生広報委員会主催の強化クラブ学生交流会を行いました。

# 2部A昇格

## 関西学生女子リーグ



女子ソフトボール部

### ついに「昇格」勝ち取る

羽衣国際大学女子ソフトボール部は、第56回関西学生ソフトボール秋季リーグ戦で2部B2位となり、2部A5位チームとの入替戦を戦う権利を得ることができました。

入替戦は相手が格上であり、全員が持てる力を最大限に発揮し、終始主導権を握って勝利することができました。チームが一つとなり、念願の2部A昇格が果たせ、うれしく思っています。次の春季リーグでは、力のあるチームとの対戦が

増え、チームの真価が問われることとなります。より一層のレベルアップを図らなければなりません。最後になりましたが、部活動を応援してくださる大学、保護者の皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

監督 岡本耕一

### 自分たちらしく戦えた

主将・上野優希 (人間生活学科3年)



チームで目標としていた「2部A昇格」を秋季リーグ戦で達成することができ、非常に嬉しく思います。これまでなかなか勝ち上がる事が出来ていませんでしたが、自分たちらしい戦い方でいい雰囲気を出せたこと、なく戦えたリーグ戦だったと思います。

3年ぶりに出場することができた西日本インカレの経験がこの「2部A昇格」という結果に結びついたと感じています。

この結果に決して満足せず、来季のリーグ戦では攻守両面でレベルアップし、上位のチームに堂々と立ち向かえるように準備していきま

### 秋季リーグベストプレー賞

石田凜音 (人間生活学科3年)



秋季リーグのベストプレー賞をいただくことができ大変光栄に思います。自分より熱心な選手を見て負けたくない一心でここまで来て、2部A昇格が決まった瞬間、チームで目標にしてきたものがやっと形になったことが本当にすごく嬉しかったです。

この戦績やタイトルは心が折れそうになったときに支えてくれた同期や後輩、

### 監督、両親がいたからこそ

の結果だと思っています。

最後に、これからもチームの勝利に貢献し、この賞に見合う選手になれるよう精進します。

### 声を出して頑張ります!

芝崎優花 (現代社会学科2年)

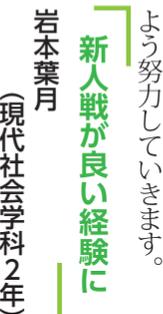


秋季リーグでは2部Aに昇格することができました。これまでの練習の成果を発揮でき、チーム全体で一つの目標を達成できたことをとても嬉しく思います。

その中で特に「声を出すこと」の大切さを改めて実感しました。仲間同士で声を掛け合うことでチームの雰囲気は良くなり、プレーにもつながることを強く感じました。どんな場面でも自分から積極的に声を出し、チームを引っ張っていきける存在になれるように頑張ります。

### 新人戦が良い経験に

岩本葉月 (現代社会学科2年)



チーム目標の「2部A昇格」を達成できとても嬉しいです。厳しい試合もありましたが、これまでたくさん支えて下さった方々がいたからこそ、最後まで粘り強くプレーできました。さらにレベルアップできるよ

### うにチーム内での声掛けや一人ひとりのレベルアップ

ができるように、日々の練習に取り組みしていきます。

11月に行われた新人戦では初めてのポジションを経験する人が多く、連携が難しかったのですが、初めて1、2年生でプレーできて、とても良い経験になりました。

今後とも羽衣国際大学女子ソフトボール部の応援よろしくお願いします。

### チームの成長を実感

田中愛海 (現代社会学科3年)



今回の秋季リーグで無事に2部Aに昇格できたことを本当に嬉しく思います。一番嬉しかったのは羽衣国際大学のソフトボール部が成長していき、チームとしての課題も潰せて一致団結

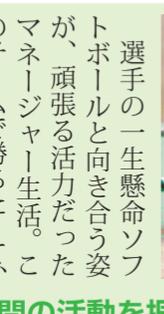
### できたことです。

昇格したからと舞い上がらずに、今まで支えてくれた先輩方・後輩・監督や先生方に感謝を忘れずに、日々

に楽しかったです。何の才能も持ち合わせていない私ですが、たくさんの方々の支えがあり、4年間やり遂げることができました。社会に出て今度は私がたくさんの人を支えられるよう精進して参りたいと思います。本当にありがとうございます。

### 4年間の活動を振り返って

太田美遥 (食物栄養学科4年)



選手の一生涯懸命ソフトボールと向き合う姿が、頑張る活力だったマネージャー生活。このチームで勝ちたくて、笑いたく全力を注ぎ続けた毎日、最っ高

## 強化クラブが大学祭に参加

2025年11月1・2日、大学祭が行われ、本年度は強化クラブの学内外の広報を目的として、4つのクラブが模擬店を出店しました。また、競技スポーツ専攻履修中の信濃明梨(現代社会学科スポーツコース1年)はステージでテコンドーの演武を披露しました。



女子ソフトボール部



硬式野球部



バドミントンクラブ



女子柔道部



テコンドー

- #### 大会成績
- ◆西日本大学選手権 1回戦 ●1-2 星城大学
  - ◆第56回秋季関西学生リーグ 女子2部B2位
  - 羽衣国際大学 ○8-3 京都先端科学大学
  - 10-3 大阪公立大学
  - 7-3 京都産業大学

- ◆関西学生新人戦 1回戦 ●0-10 園田学園大学
- 「入替戦」 ○3-1 神戸親和大学 (2部A5位)
- ☆2026年度春季リーグより 2部A昇格



女子ソフトボール部 公式Instagram

女子駅伝部

# きずなをつないで力走

## 関西学生女子駅伝14位



1区・古好未侖(1年)

初めての駅伝で1区を任され、楽しみよりも不安の方が大きく、緊張の状態です。スタートラインに立ちました。結果としてはチームにいい流れを作ることができず悔しい結果に終わってしまいました。自分にとつてすごく良い経験になりました。また、1人でも欠けたら出場できない状況で挑んだ駅伝だったため、自覚と責任を持って最後まで襷をつなぐことができました。走っている中で先頭集団から離れてしまったとき、たくさんの方々の応援を受けて、最後まで襷をつなぐことができました。ありがとうございました。

2区・河本優希(4年)

私にとって最後の関西学生女子駅伝は個人として悔しさの残る走りとなりました。が、チーム一丸となって最後まで走り切ることができました。歴代最少人数での挑戦でしたが、一人ひとりが自覚を持って取り組むことができたと思います。たくさんの方々のおかげで、4年間競技を続けることができました。駅伝当日も朝早くから応援に駆けつけてくださり、本当に大きな力になりました。心より感謝しています。

3区・奥澤虹雨(4年)

初めての関西学生女子駅伝出走となりました。感謝の気持ちを持って走りましたが、自分の区間で順位を落とすことになり、悔しい結果となりました。しかし、4年生の皆さんが中心となってチームをまとめ、引っ張ってくださり、全員で走り抜けることができたと思います。また、監督やコーチ、当日も温かい応援を送ってくださった皆さまのおかげで、この駅伝を走ることができました。

4区・木村心咲(4年)

大学生活最後の関西学生女子駅伝では、一人ひとりが目標を持ち、最後までチーム全員で襷をつなぐことができ、思い出に残る大会となりました。陸上生活最後の駅伝で1秒でも速く襷をつなげるように全力で走ることができました。4年間、このチームで陸上をできたことは本当に楽しい時間でした。本当にありがとうございました。

5区・岡本百萌子(2年)

初めての関西学生女子駅伝出走となりました。感謝の気持ちを持って走りましたが、自分の区間で順位を落とすことになり、悔しい結果となりました。しかし、4年生の皆さんが中心となってチームをまとめ、引っ張ってくださり、全員で走り抜けることができたと思います。また、監督やコーチ、当日も温かい応援を送ってくださった皆さまのおかげで、この駅伝を走ることができました。

6区・鶴身佳音(1年)

初めての駅伝で1区を任され、楽しみよりも不安の方が大きく、緊張の状態です。スタートラインに立ちました。結果としてはチームにいい流れを作ることができず悔しい結果に終わってしまいました。自分にとつてすごく良い経験になりました。また、1人でも欠けたら出場できない状況で挑んだ駅伝だったため、自覚と責任を持って最後まで襷をつなぐことができました。走っている中で先頭集団から離れてしまったとき、たくさんの方々の応援を受けて、最後まで襷をつなぐことができました。ありがとうございました。

### 就職情報

## 奥澤虹雨が公務員試験に合格! 貝塚市役所に内定!



女子駅伝部では、日常的に先輩や同級生と競争しあえる環境だったので、日々の練習がとて楽しく、記録を伸ばすことができました。また、キャプテンを任されたおかげで、誰かと接する際の自分の発言がどのように影響するのかなどを考える機会にも恵まれ、内面的にも成長できたと思います。公務員試験の対策はSPIの問題集に取り組み、数学は高校時代に学んだことを思い出しながら解きました。面接試験では「ストレス対策」や「メンタル面」についての質問が多かった印象です。学生生活を通して、多くの方々に支えていただきました。今後は自分が支える側になり、地域に貢献していきたいです。

### 大会成績

- ◆関西学生女子駅伝(6区間36・2km)
  - ①2時間17分23秒
  - 1区(6.9km)古好24分17秒(区間11位)
  - 2区(6.9km)河本11分39秒(区間15位)
  - 3区(6.5km)奥澤24分09秒(区間13位)
  - 4区(6.5km)木村24分48秒(区間14位)
  - 5区(6.5km)岡本26分36秒(区間16位)
  - 6区(6.5km)鶴身25分54秒(区間15位)
- ◆関西学生種目別選手権
  - ▽1500m予選2組
  - ①鶴身5分08秒67
  - ▽3000m障害
  - ④古好11分20秒23
  - ⑥岡本12分28秒34

## 競技スポーツ副専攻

競技スポーツ副専攻は、運動生理学やバイオメカニクス、スポーツと栄養、スポーツ心理学、統計学といった専門的知識を活用し、自らの競技力を科学的に高めるスキームを構築します。このスキームにより、主体的かつ自律的に学ぶ姿勢が培われ、生涯にわたって学び続ける力が身につきます。単なる競技力の向上にとどまらず、社会を牽引する人材の育成にもつながります。



### [学び×競技]で人材育成

好きなスポーツを通して課題を発見し、考える力や問題解決力を磨くことで、DX(デジタルトランスフォーメーション)が進む社会にも柔軟に対応できる人材へと成長します。本年度は、強化クラブ所属学生に加え、サッカー、卓球、テコンドーで競技する学生アスリートが副専攻で学んでいます。



競技スポーツ副専攻サイト

## 競技スポーツ副専攻を学ぶ学生の活躍

### テコンドー

2025年9月に兵庫県で行われた第19回全日本学生テコンドー選手権大会に、現代社会学科スポーツコース1年の信濃明梨が出場。プムセ女子有段の部で優勝しました。



### 卓球

2025年11月に福岡県で行われた第21回全日本学生選抜卓球選手権大会に、現代社会学科スポーツコース1年のZHAN LINM AOXINが出場しました。



### サッカー

サッカーの指導者を目指す現代社会学科スポーツコース1年の西村軍司(写真中央)は、2025年11月29日〜12月1日のJ1リーグ「セレッソ大阪 横浜F・マリノス」戦でコーチボランティアを行いました。



女子駅伝部 公式Instagram



女子駅伝部 公式サイト

京都亀岡ハーフ

1時間34分43秒  
女子29歳以下  
岡本2位